

第2章 実施計画

1 ミウの物語

本章では、ミウという女の子の誕生に沸く一組の夫婦が幾多の困難を乗り越えて成長していくさまを時系列で追っている。ミウの家族が直面する様々な“困りごと（生活問題）”は全て、計画策定に携わった三浦市社会福祉協議会の職員ないし、三浦市民生活向上会議活動評価促進部会の部会員が、団体ヒアリングや住民懇談会において、直接三浦市民から聞き取ったものばかりである。

物語は、ミウの母親である「ママ」の独白で綴られる。前述のとおり、彼女を苛む葛藤（生活問題）は、全てが真実である。想像というフィルターは一切通していない。故に、我々は、ここに顕在化した多様な生活問題と真摯なる対峙を迫られた。当然のことだといえよう。そして、その行為は、さながらケースカンファレンスのようでもあった。我々は、係る「課題」を解決するために、フォーマル、インフォーマルを問わず、いくつもの方策を組み合わせ、得られるであろう「効果」に思いを巡らせることとなった。時には、有効な策を見いだせないまま、時間を遣り過ごしたこともある。それでもなお、ここに掲げ得た“解決策（実施計画）”が、本当にそれに相応しいものなのか、今もって自信を持ってないでいる。そう、葛藤しているのは、当事者である「ママ」だけではないのだ。今の局面において、仮に支援者の立場に立つ我々も大いに“揺らぎ”ながら、ここに掲げた“解決策（実施計画）”を導き出したのである。

しかし、我々はこの“揺らぎ”を否定しない。

“揺らぐ”という言葉には、動揺や葛藤、混乱といった意味が含まれる。動揺や葛藤、混乱はしばしば危機的な状況を招くことから、否定的な意味

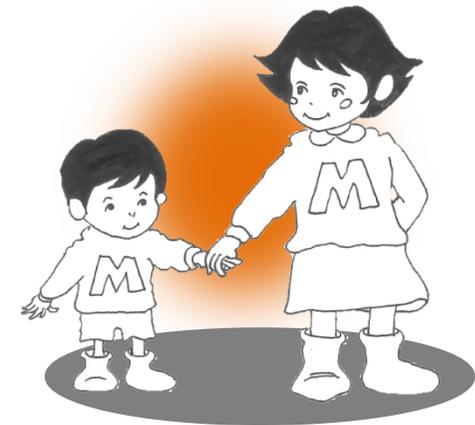
合いをもって捉えられることも少なくないだろう。

一方で、この“揺らぎ”を変化・成長・再生の契機と捉える考え方もある。立教大学の故尾崎新教授も、自身の著書『ゆらぐ』ことのできる力』でこのように述べている。

『ゆらぎ』にはもともと『ゆらぐ』ことができる余地や幅が不可欠である。したがって、『ゆらぎ』は振幅性、幅の広さ、多様性の意味を含み、幅の広い見方や新たな考え方を創造する契機という意味をもつ場合がある。」

ここに、その振幅性や多様性を付加できたとは思っていない。しかし、答えが“ひとつ”であろうはずもない。本計画書を一つの“たたき台”として、全ての三浦市民が自身の属する地域社会に思いを馳せる機会としていただければ幸いだ。願わくば、何か一つでいい。そこに属する構成員としての“気づき”から、地域社会のために行動を起こしていただきたい。

なお、ボランティア・市民活動の促進・支援に関しては、既に第二次ボランティア活動推進計画にまとめられているので、重複を避けるためにここでは割愛した。本計画書と併せることによって、本当の意味で「住民の行動計画」となる。



ミウ誕生



パパ29歳、ママ28歳のときに、「ミウ」は産まれました。パパはミウに「生まれてきてくれてありがとう」と言いました。ママは嬉しくて、嬉しくて、ひたすらミウを抱きしめました。

ミウは、大きな産声なんかあげていなかったかのように、2人に抱っこされてスヤスヤ眠りました。

ミウ・パパ・ママが暮らす三浦市は、三方を海に囲まれた、農業と漁業の町です。

でも、年々人口は減少してきていて、少子高齢化が進んでいます。ドラマや映画のロケ地として有名ですが、転入者はほとんどいません。城ヶ島をはじめとした豊かな自然と、グルメが集う観光都市を目指しています。



何だか不思議な子だなあ…



ミウは、パパとママの深い深い愛情を一身に受けて、あっという間に1歳半になりました。

…でも最近では、「可愛い」はずのミウを、怒ってばかり。呼んでもママ

の方を向いてくれないし…ママのいうこともあまり聞いてくれないんです。眠りが浅いのか、毎晩真夜中に大泣きするミウに起こされるので、気が滅入ってしまいます…。

でもパパが「ママも休みなよ」って、ミウをお風呂に入れてくれたり、休みの日に一緒に遊んでくれます。優しいパパに感謝！ママはリフレッシュして、優しいママに戻ります。



三浦市の状況

三浦市は、気候が穏やかで暮らしやすい反面、慢性的な交通渋滞など、インフラの整備に課題を抱えています。また、財政難から、独立した図書館や文化施設がなく、子どもの教育という視点からすると不便さもあります。基幹産業が第1次産業ということもあり、就労機会も限定され、若年層の流出に歯止めがかかりません。



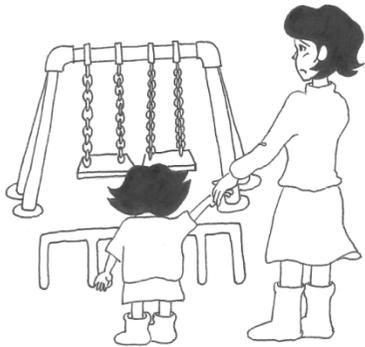
小さな社会

家族とは、生まれて初めて所属する最も小さな「社会」であるといわれています。家族という社会の構成員の協力によって、解決できる課題もあります。家族だけでは解決できない課題は、溜め込まずに隣近所、市域、県域等のより大きな社会の協力によって、解決を目指します。



実施主体：当事者家族

公園に行っても誰もいない…



お天気もいいので、今日はミウを連れて公園に行ってきました。ミウにお友達ができるといいな。でもいざ公園に着いてみると…お友達がいない…というか、人っ子一人いません。子供達はどこで遊んでいるのでしょうか？

帰宅後、スマホで検索してみると、三浦市の子育て情報サイトに、公園情報が載っていました。

でも一番は“ロコミ”の情報でした。家庭訪問してくださった主任児童委員さんから「ここなら同年代のお子さんがありますよ」と教えてもらったり、ママ友からも人気公園の情報を教わったりしました。今ではミウも、沢山の子供達の中で遊んでいます。一人遊びが多いけど。



計画事業

子育て・介護・障害児者支援などの生活情報を収集・発信する力を強化します。

●情報サイトの充実 (73 点)

SNS (人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の Web サイト。) などロコミの情報発信機能強を充実・強化します。

●紙媒体広報誌の充実 (74 点)

「社協みうら」などの紙媒体による情報発信

●安全な子どもの居場所の確保 (34 点)



実施主体：三浦市・社協・当事者

ミウ 大丈夫？！



夕飯の準備をしていたら、ミウがたくさん汗をかいてグッタリしています！大変！すごい熱！！三浦市に、夜もやっている小児科なんてあったっけ？！今日はパパも遅くなるって言ってたし、車なんて運転できないわ！どうしよう？！慌てふためいていたママは、ミウを抱っこしたまま外に出ました。

そこに近所のベテランママが通りかかり「どうしたの？」と声を掛けてくれました。ベテランママの車に乗せてもらい、Y市の救急医療センターまで行きました。ミウの熱はすぐに下がりました。ママは、ベテランママに沢山感謝しました。でも、市内に夜間も診てくれる小児科があったらいいのに…。



計画事業

隣近所による相互支援体制を構築するとともに、市民自らが活動の実践を通して得た、学びや“気づき”を“公”の施策に反映させるための支援をおこないます。

●小地域生活支援チームの組織化 (63 点)

誰一人としてこの地域社会から“孤立”させないという理念のもとに見守り活動を推奨します。

●小児医療制度の充実 (35 点)



実施主体：三浦市・医師会・当事者・市民

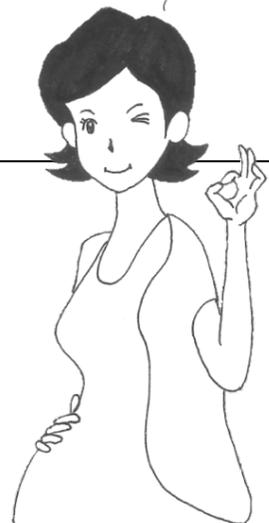
おとうと？！



来年、ミウに弟ができることがわかりました。パパと祖父母は喜んでいますが、ママは正直にいうと、嬉しい気持ち半分・手放しでは喜べないという気持ち半分です。ママは具合が悪くて、何もできない日もあります。ミウが泣いていても、

何もしてあげられないときは、「弟なんていないんじゃないかしら。」とってしまいます。

パパが三浦市の「子ども課」に相談したところ、妊産婦を対象としたホームヘルパーが来てくれることになりました。この事業、もともとは市民活動としておこなわれていたそうです。今では、その公共性を認められ、当該活動をおこなっていた団体のNPO法人化を機に、三浦市からの受託事業となったそうです。ヘルパーさんからの、ベテランママとしての温かい励ましもあり、ママはお産に前向きになってきました。



計画事業

産前・産後の支援を目途としたホームヘルパーの派遣事業など制度間の“隙間”に埋もれかねない「ニーズ」を解消するために、自由契約に基づく柔軟なヘルパー派遣を実現します。その際は、利用者の負担を軽減するために減免措置を設ける必要があるでしょう。公費（一般財源みうらっ子育て成育付金等）の導入はもとより、三浦市社会福祉協議会の会費などもこれに充当すべきだと考えます。

- 自由契約ホームヘルプサービスの実施（53 頁）

実施主体：三浦市・社協、NPO

ミウ 1歳半の健診で



「ミウちゃんは、自閉症の疑いがあります。」と言われました。前々から不思議なところがあるなぁとは思っていましたが…！

ていうか、そもそも自閉症って何？！これからどうすればいいの？！そろそろ下の子も生まれるのに…！

保健師さんが、その場でいろいろ教えてくれて、少し安心しました。まだ疑いの段階だけど、ミウのためになるなら「すすく教室」に行かせてみようかな。迷ったけど、パパとママのお母さん（祖母）にもこの事実を伝えました。祖母は「できることがあったらいいね」と協力的です。話してよかったです。パパは「そうなんだ」と、とても驚いていました。分かってくれたかな？



計画事業

子育てに関し、気軽に相談できるよう多様な柔軟な支援体制を構築します。

- “かかりつけ医”の確保（54 頁）
- 子どもの発育を支える仕組みづくり（36 頁）
 - ①「すすくする一む」の充実
 - ②三浦市中心身障害児生活訓練会の充実
 - ③HUGくみ“個別療育サービス”の充実
- 民生委員児童委員活動の一層の促進（37 頁）



実施主体：三浦市・神奈川県